



臨床検査技師はこんな活動をしています！

検査室では毎週金曜日にアルブミンマップを配布しています。
血清アルブミン値の栄養指標の判断については2010年5月号で紹介しました。
今回はアルブミン以外の栄養指標である総リンパ球数 (TLC) と予後栄養指数 (PNI) を紹介します。

総リンパ球数 (TLC) $TLC (\text{/mm}^3) = \text{白血球数} (\text{/}\mu\text{l}) \times \% \text{リンパ球} (\%) \div 100$

TLCはTリンパ球、Bリンパ球の総数で、免疫能や栄養状態の指標として有用です。

TLCを栄養指標として判断するときは

軽度：1500～1800未満

中等度：900～1500未満

重度：900未満

と判断します。

※ ただしTLCは白血球が増加するときや感染症のときは上昇し、代謝ストレス・がん・術後・ステロイド薬投与には低下するため、栄養状態の絶対的な指標とはなりません

予後栄養指数 (PNI)

$PNI = \text{血清Alb} (\text{g/dl}) \times 10 + TLC (\text{/mm}^3) \times 0.005$

栄養障害がない：50～60

予後不良：36～40

35以下は60日以内に死亡する可能性があるとしてされている

○ アルブミンマップ ○

→ 2週間以内にALB値が低下した方

患者ID	患者氏名	性別	最新病棟	検査日	依頼診療科	依頼医師	ALB	CRP定量	WBC	Lymph	TLC	PNI
	A	男	○階	2011/11/01	内科		2.6	10.86	15330	6.6	1012	31
	B	女	○階	2011/11/01	内科		2.9	4.33	7860	44.4	3490	46
	C	女	○階	2011/10/21	整形外科		3.4	7.70	11430			
	C	女	○毎	2011/10/31	整形外科		2.7	7.36	9110			
	D	男	○階	2011/11/01	内科		2.5	0.53	2280	21.0	479	27
	E	男	○階	2011/11/01	整形外科		2.8	5.82	8270	23.5	1943	38
	F	女	○階	2011/10/19	内科		2.5	1.34	4310	6.0	259	26



第7回 NST勉強会報告 2011.12.7

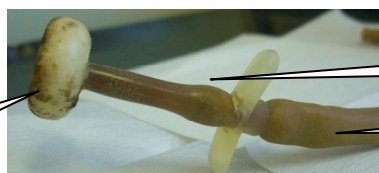
胃ろうカテーテル交換

胃ろうカテーテルの交換時期

- ・バンパー型・・・4ヶ月～6ヶ月 に一度
- ・バルーン型・・・1ヶ月～2ヶ月 に一度

胃ろうカテーテルは「半永久的である」「具合が悪くなったら交換する」は誤解です。
カテーテル長期使用による劣化、変性、バルーン水の除去不能による交換時のトラブルのみでなくカテーテルからの感染を予防するためにも定期的な交換が必要です。

こんなカテーテルになる前に・・・
定期的な交換を！！



カビが・・・

茶色に変色

伸びてフヨフヨ

次回：第8回院内NST勉強会 [NSTに必要な基礎知識シリーズ①] 1月11日(水)17時 3階講堂